

一般会計歳入歳出決算額の詳細

	平成29年度決算額	平成28年度決算額	増減率 (%)	解説
(1) 歳入総額	1,430億5,347万円	1,433億3,252万円	△ 0.2	前年度に比べ市たばこ税や入湯税は減額となったものの、固定資産税や法人市民税が増額となるなど、市税全体では約6.0億円の増額となりました。 そのほか、県支出金が約9.6億円、国庫支出金が約5.0億円の増額となる一方で、地方交付税などの減額が影響し、歳入総額は約2.8億円の減額となりました。
(2) 歳出総額	1,401億7,688万円	1,410億8,540万円	△ 0.6	六供清掃工場延命化工事などにより、衛生費が約38.3億円の増額となりました。一方で、平成28年度に中学校3校の体育館改築工事が完了したことなどにより、教育費が約18.4億円の減額、市民文化会館の耐震工事の完了などにより、総務費が約12.1億円の減額となり、歳出総額は約9.1億円の減額となりました。
(3) 歳入歳出差引額	28億7,659万円	22億4,712万円	28.0	「(1)歳入」から「(2)歳出」を差し引いた、形式収支と呼ばれるものです。
(4) 実質収支	24億8,896万円	15億7,854万円	57.7	実質収支は、「(3)歳入歳出差引額」から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、このうち13億円を財政調整基金（貯金）に積み立て、残りの11億8,896万円を翌年度（30年度）への繰越金としました。
(5) 単年度収支	9億1,042万円	△17億3,180万円	152.6	単年度収支は、当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた、当該年度だけの収支の状況を見るものです。
(6) 実質単年度収支	△10億8,790万円	△54億9,142万円	80.2	実質単年度収支は、「(5)単年度収支」に財政調整基金への積立金（決算余剰積立以外）と市債元金の繰上償還金を加算し、財政調整基金の取崩額を減じたもので、単年度収支に含まれている黒字要素及び赤字要素を調整した収支の額です。